

# 地域の暮らしを話す会

## 平成28年度実施報告書



## 目 次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 平成 28 年度実施報告	p 4
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 8

### 【各地区の意見詳細】

①日新地区	p 16
②佐野台地区	p 19
③北中地区	p 22
④三小地区	p 24
⑤末広地区	p 26
⑥一小地区	p 31
⑦長滝地区	p 37
⑧上之郷地区	p 41
⑨大土地区	p 44
⑩長坂地区	p 47
⑪日根野地区	p 51
⑫南中地区	p 54
⑬中央地区	p 57


### 【参考資料】

①地域の暮らしを話す会 平成 28 年度打合せ資料	p 60
---------------------------	------

# 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

## 1.地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→地域の困りごとを地域住民で話し合っって把握する場です

 「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合っって把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。


座談会がなぜ  
必要なの？

3つの理由があ  
ります。




## 2.住民座談会がなぜ必要なの？

→豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために

 最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありませんか。日本では今、そうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→地域のことは、地域できめていくために

 「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていこう」といった市民活動の動きが、各地で活発になりつつあります。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで  
見つけてのばしていこう！



## →自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく



目的は「地域の福祉を推進していく」誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくることが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々時代にあった地域づくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



住民座談会で、地域の困りごとをみんなで話しあいましょう！

自然災害などで困ったとき、助けあえるといいね。

顔や名前を知らない人が結構いるからなあ。

あいさつの輪をもっと大きく広げたいな。

子どもの事件が増えて不安だわ。



### ■小地域って？

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

# 平成28年度実施報告

## 1)開催状況

泉佐野市社会福祉協議会では、泉佐野市と協働で平成25年度・平成26年度の2か年をかけて「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」の2つの計画を作成しました。

計画の策定にあたり、平成25年度に市内の14地区で2回ずつ、「地域の暮らしを話す会」を行い、そこで出た意見を「いずみさのみんなの絆プラン」に反映したり、新たな取り組みをすすめるための材料にしたりしました。

そういった中で、平成27年に完成した「いずみさのみんなの絆プラン」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられたことから、行政と社協、CSWが協働で取り組んで行くことになりました。平成27年度に各地区で1回ずつ開催されたのに引き続き、平成28年度においても、各地区1回ずつ開催しました。

《平成28年度「地域の暮らしを話す会」開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日時	場所	人数
日新	2月12日(日) 14:00~15:30	上瓦屋町会館	26人
佐野台	3月2日(木) 19:00~20:30	佐野台集会所	37人
北中	2月25日(土) 19:30~21:00	鶴原町会館	17人
三小	3月5日(日) 10:30~12:00	新町会館	25人
末広	12月13日(火) 19:00~20:30	東羽倉崎南町集会所	29人
一小	2月24日(金) 19:00~20:30	松原町会館	39人
長滝	2月8日(水) 19:00~20:30	長滝町会館	55人
上之郷	12月15日(木) 19:00~20:30	上之郷小学校多目的室	22人
大土	1月28日(土) 19:00~20:30	土丸町会館	32人
長坂	11月15日(火) 19:00~20:30	次世代育成地域交流センター	32人
日根野	11月19日(土) 19:00~20:30	日根野町会館	44人
南中	9月2日(金) 19:00~20:30	南部市民交流センター	36人
中央	3月11日(土) 18:00~19:30	幸町会館	12人
二小	※地区との調整がつかず未実施		

合計参加者数 406人

## 2)当日の内容

平成28年度についてはこれまでに出了意見や、平成27年度に行った「地域の暮らしを話す会」の意見を参考に、事前に各地区でテーマをきめて話し合うという方法を取りまし

た。平成 27 年度は当日話し合うテーマを発表していましたが、事前に検討テーマがわかっていたほうがよい、という意見があったため、28 年度はこのような形をとりました。なお、社協事務局としては、テーマ決めが難しい地区ができることを想定し、「社会資源マップをつくろう」というワークショップの企画書も作成いたしましたが、各地区にあわせたテーマを設定することになりました。これは、「自分たちの地域にとって必要なことを自分たちで話し合う」という住民座談会の趣旨に沿ったものです。実際に決められたテーマも、平成 28 年 11 月に初めて行われた「泉佐野市市民大防災訓練」と関連した防災に関するものや、具体的にとりかかりやすい支部福祉委員会活動や町会活動に関するものとなりました。

★地域の暮らしを話す会における、基本的な進行の枠組み

司会進行：社協 CoW (地区担当者)

時間	内容
開始～15 分	趣旨説明・自己紹介など
15 分～20 分	テーマの発表・説明
30 分～35 分	テーマに対するアイデアを各自でふせんに書く
35 分～65 分	ふせんをもとに、グループごとに話し合い
65 分～90 分	各グループで話し合った内容の発表

※平成 28 年度については、地区ごとのテーマにあわせて、進行についても上記以外に様々に工夫をこらして行いました。

【※メモ】

自分の意見を「ふせん」に書くという作業には、2つの意味があります。

- ①口下手な人でも意見を表明できる
- ②後で記録をまとめるときに「発言者の属性を外す」  
(「誰が言ったか」ではなく「どんな意見か」を重視できる)

少し手間ですが、みんなで意見を出し合う時には大切な手法です。



日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

《平成28年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ（事前提示）
日新	これからの支部福祉委員会について
佐野台	支部活動の活性化について
北中	地域の防災について
三小	環境美化について
末広	町会館・集会所の活用（福祉委員会として）
一小	ふれあいいきいきサロンについて振り返ろう
長滝	防災訓練を振り返ろう
上之郷	今の町会のあり方について
大土	地域の防災について
長坂	福祉委員会で行える避難支援について
日根野	町会への参加促進について
南中	下記のいずれかを町ごとに選択 ①災害時にわが町の被害を最小限にしよう／②地域活動への参加
中央	支部活動について振り返ろう
二小	



ふせんをつかった  
話し合いのまとめの例

《参考：平成 27 年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ(※当日のグループごとで話し合って決定)
日新	みんなの力～一人はみんなのために、みんなは 1 人のために～ 安全な町づくり/集まる場所づくり 災害対策/清掃等の参加人数を増やすには
佐野台	東佐野台の住民がこの町で安心して暮らしていくためにはどうすればよいか/「困難に直面した時どう対応するか」/つながり/思いやりのある地域づくり/住みやすい町づくり/話し合い/一時避難について/町会脱退者をなくすには/地域交流/地域活動の担い手をどのように確保するか/高齢化対策/住みよい町にするために/安心、安全のまちづくりについて/会館の有効利用/西佐野台を住みやすい町にするにはどうすればよいか
北中	住みやすい町/町づくり/住み良い町づくり
三小	高齢者にかかわりやすい町づくり/住民同士のつながり/挨拶の交わす町・地域
末広	南町をよくしていくためには/支えあいのまち/町会の活性化 どうすれば住みやすい町になるか/「つながるしくみ」をつくろう
一小	福祉を支える人づくり/活気ある町づくり/コミュニティバスについて/地域の活性化/ 町内の活性化/地域の困りごと(マナー)/活動の担い手
長滝	みんなで「安心・安全のまち」をつくろう！/地域の助け合い/ゴミのすて方/少子化/ 町会・福祉・青年団の体制等各種団体の強化/地域の美化
上之郷	地域の情報/不法投棄/町会加入を促進するために
大土	大木の活性化/景観/住みやすい町づくり/魅力ある地域/花満開～にぎわい創り～
長坂	地域の絆づくり/地域の困りごと(マナー)/支え合う仕組みをつくろう/住みよい町作り/防災/住民が積極的に参加するには
日根野	住民同士の繋がり(コミュニケーション)防災時について話し合う/交通マナーの向上 と安全な町作り/交通事情を良くするには/町会加入促進/町会加入率アップ/町会加入率をアップするには/地域活動の担い手の確保
南中	防災について/高齢者が安全にくらすために/地域の見守り/防災
中央	高齢化について/助け合える町づくり/気になる家を把握する
二小	環境の美化・猫と犬の害・認知問題/地域活動の周知/交通安全/明るく元気!!/住み 良い街に/町内の高齢化対策について

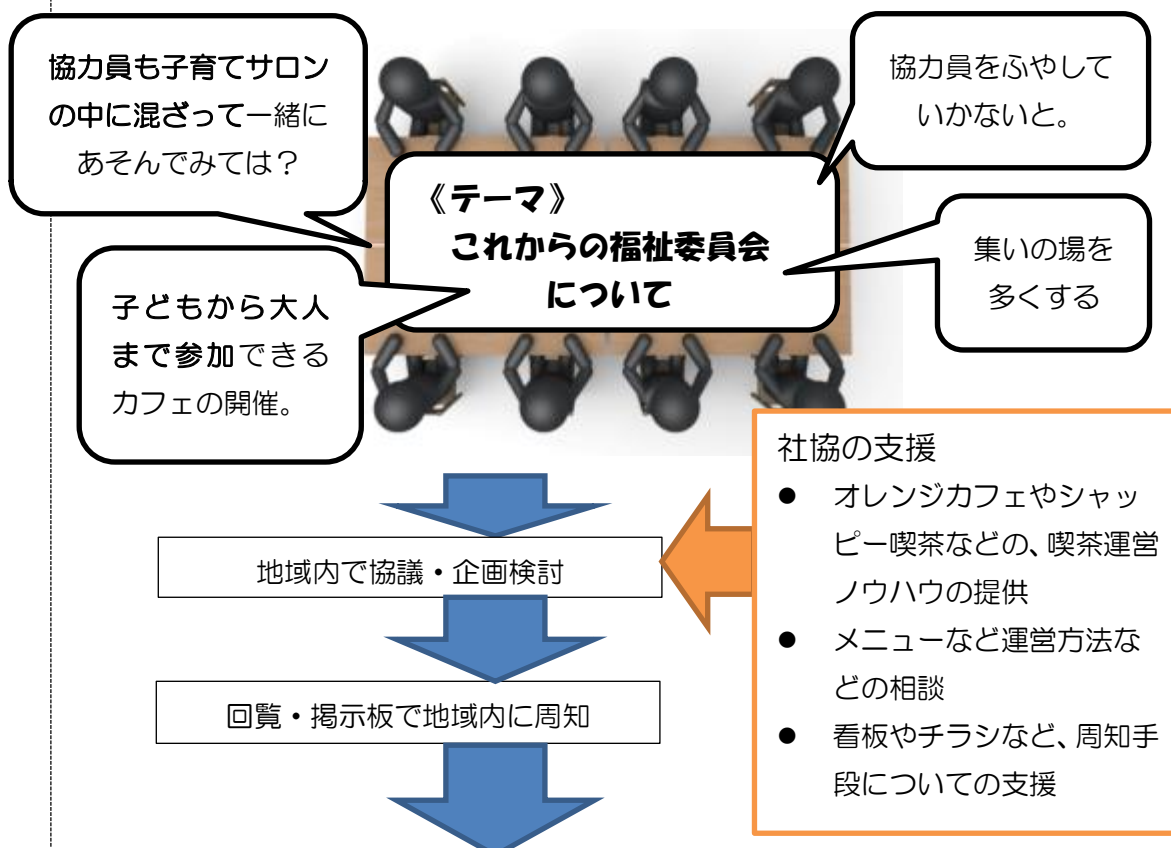


# 地域の暮らしを話す会の効果

泉佐野市内でも、地域の暮らしを話す会で出た意見を参考にしながら、具体的な取り組みにつながっていった事例が生まれてきています。そのうちのいくつかを紹介します。

## ①中町カフェの設立まで

平成 28 年度の地域の暮らしを話す会にて・・・



中町では月に2回の子育てサロンのうち、1回を  
コミュニティカフェに変更！！  
子どもも大人も高齢者も誰もが集える居場所をめざし  
平成29年5月17日 中町カフェ開始

日時： 毎月 第3水曜日 10時00分～12時00分

場所： 中町町会館

対象： 中町住民であればだれでも(飲み物お替り自由)

主催： 中町支部福祉委員会・中町町会



## 増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

コミュニティカフェとは、“地域社会の中で「たまり場」「居場所」になっているところ”の総称です（公益社団法人長寿社会文化協会「全国コミュニティカフェ・ネットワーク」ホームページより）。長寿高齢化社会のなかで、リタイア世代の居場所の必要性が求められている時代のなかでの解決策のひとつとして注目されており、NPOやボランティアグループ、個人の喫茶店など、様々な主体による多様な形での取り組みが全国的に広がっています。泉佐野市社会福祉協議会でも建物内に「シャッピー喫茶」というセルフの喫茶スペースを開設し、年間のべ1500人程度の利用があり、交流が行われています。

泉佐野市内における地域の暮らしを話す会でも、「地域の人たちが気楽に集える場」「互いに顔見知りになる機会」の必要性を求める意見が多く、地域の皆さまから「町会館の有効活用」「町会について知る機会」の必要性をみとめる声も多く聞かれています。このような声に対する解決策の一つとして、カフェ活動が泉佐野市内でも広がりを見せてきています。

### コミュニティカフェのポイント&メリット

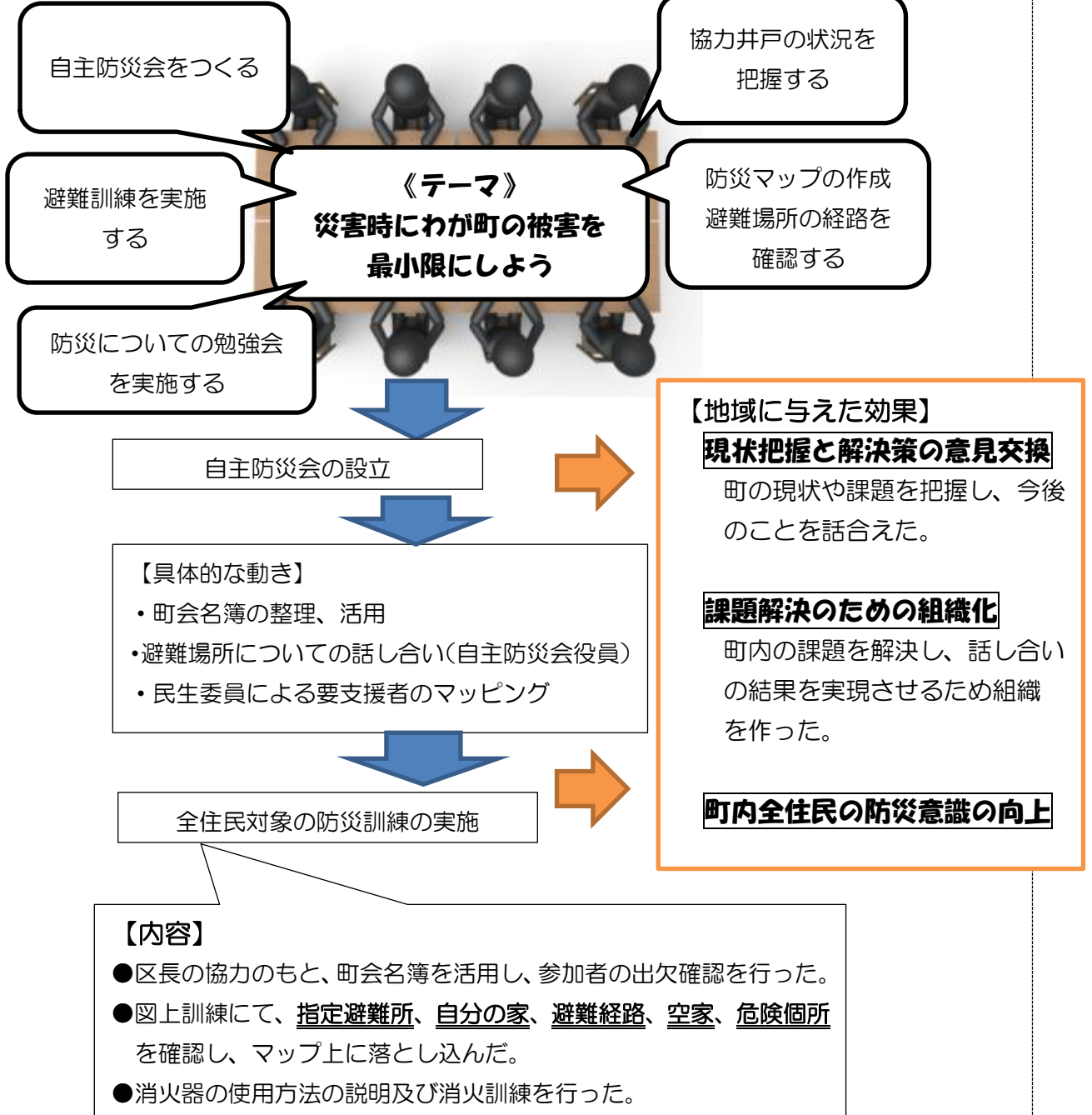
①定期的に開催している	その日にいけば、誰かに会える、という安心感。閉じこもり防止につながる。
②誰でも参加可能	互いに顔見知りになる機会になる。
③自由に入退室可能	自分のペースで参加できる。 (体調や都合にあわせて参加できる)
④自由に話ができる	困りごとの発見や支援の情報提供がされたり、新たな企画のアイデアが生まれやすくなる。
⑤身近な場所で開催	地域内にある資源の有効活用、地域への愛着をうむ

### 地区福祉委員会の行っている、カフェ活動（平成29年6月現在）

実施地区	場所	開催日時
一小地区 松原団地住宅「ふれあい喫茶」	松原住宅集会所	毎週火・木・土 9:00~12:00
三小地区「旭町カフェ」	旭町会館	毎月第3木曜日 13:00~15:00
日新地区「上瓦屋ラウンジ」	上瓦屋町会館	毎週水曜日 13:00~16:00
一小地区「サロンド松原」	松原町会館	毎月第1・3日曜日10:00~12:00
佐野台地区「西佐野台げんきカフェ」	西佐野台町会館	毎月第3土曜日 13:30~15:30
中央地区「松風台サロン」	松風台自治会館	毎月第2金曜日 15:00~17:00
佐野台地区「南泉ヶ丘よりみちカフェ」	南泉ヶ丘町会館	毎週木曜日（第2週除く） 13:00~15:00
中央地区「なかまちカフェ」	中町町会館	毎月第3水曜日 10:00~12:00

## ② 樫井東自主防災会の設立と防災訓練の実施まで

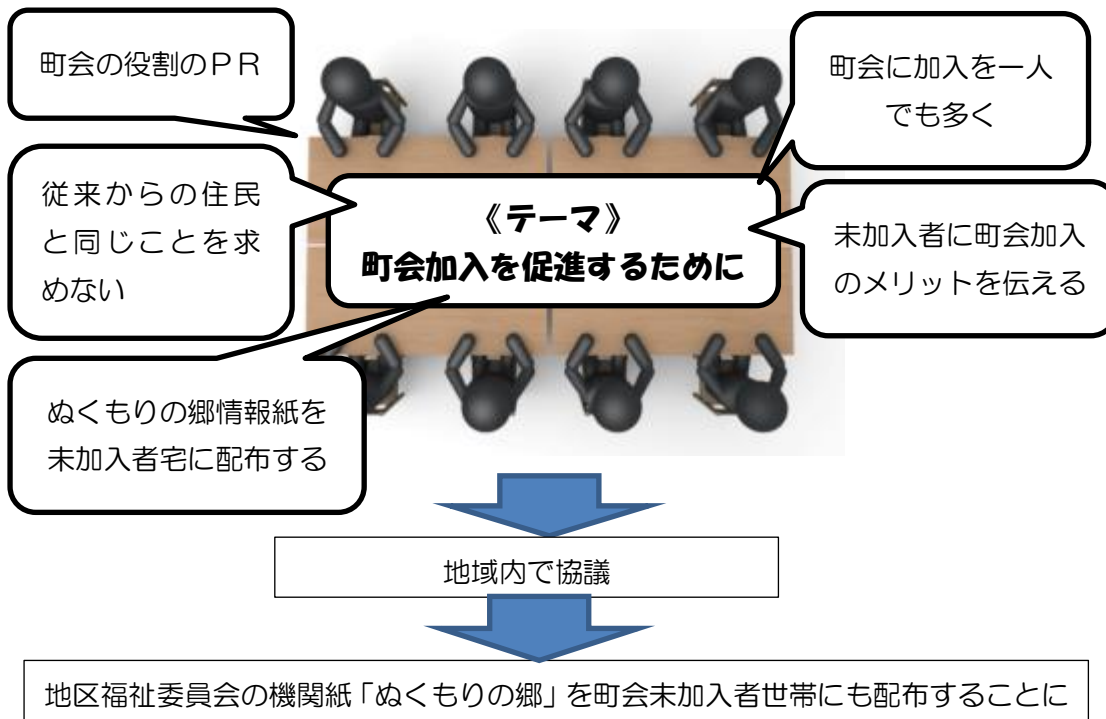
平成28年度の地域の暮らしを話す会にて・・・



27 年度実施報告書に掲載した成果事例

③町会加入を促進するための上之郷地区福祉委員会の取り組み

平成 27 年度の地域の暮らしを話す会にて・・・



実際の記事（平成 28 年 3 月 1 日発行 上之郷地区福祉だより「ぬくもりの郷」より）

(3) いずみさのし 上之郷地区福祉だより 平成28年3月1日

---



先ず趣旨説明を聞く参加者

**地域の暮らしを話す会**  
泉佐野市社会福祉協議会の主催で

十二月十七日(木)に「地域の暮らしを話す会」が上小多目的室で開催されました。これは、「みんなで支えあい、顔と顔でつながるまち泉佐野」を基本理念として、みんなが地域でいきいきと暮らせるよう、市民一人ひとりが「やさしさとふれあい」でつながり、地域の課題を共有するまちづくりを目的としていきます。上之郷地区でもその趣旨に沿って地域福祉活動を推進するために地域でのいいことや困りごと、これからの生活に大切な問題点を

い

- ★個人で取り組むこと
- ★地域で取り組むこと
- ★行政にお願いすること
- ★その他の機関・団体にお願いすること

などに思い思いの意見を出し合い、まとめを発表しました。

その結果の一つとして「ぬくもりの郷」情報誌を町会未加入者宅にも配布することとなりました。



熱の入ったまとめの発表

## ④長滝中ノ番「話そう会」の取り組み

### 実施経過

平成 25 年度	地域の暮らしを話す会にて、今後の取り組みとして、「子育てしやすい環境をつくっていく」「若い世代の人々の意見を参考にする」「協力し合えるような話し合いの場をつくる」などの意見がでる
↓	地域内で協力し話しあえる場「話そう会」を町会有志で設立。定期的に行われる「話そう会」のなかで、子育てサロン設立について協議・企画を行うようになった。
	上之郷地区子育てサロン「ぬくもり」を見学
↓	回覧・掲示板で地域内に周知
	平成 26 年 7 月 24 日（木）
↓	その後も継続的に「話そう会」で地域の課題について協議（毎回、子育てサロンと同日に開催）
	平成 27 年度



### ここがポイント！

中ノ番のみなさんは、自主的に「話そう会」をたちあげ、地域の暮らしをよくするための活動を実践されています。

長滝中ノ番子育てサロン「あおぞら」



危険個所マップと対策報告書

## ⑤買物支援のための取り組みが動いた事例

### 実施経過

平成 25 年度	地域の暮らしを話す会にて、「スーパーが遠く不便」「車がない人は買い物に困っている」などの意見がでる
平成 26 年 7 月	「第 2 次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」作業部会にて買物弱者支援・移動支援についての専門作業部会を開催。 買物支援・移動支援について協議
// 8 月	泉佐野市と「いずみ市民生協」で移動販売に関する協定を締結
// 9 月	市の紹介で、生協と社協・地区担当で情報交換 ・実施するには、地域の理解が必要だが、生協だけで各町会へ説明に行くのは難しい ・市も特定の企業の取り組みのみを斡旋するのは難しい →「公共性の高い民間社会福祉法人」という社協の立場を活かして、企業と地域との間の調整を社協・地区担当が行うこととし、「地域の暮らしを話す会」で「買い物が難しい」という意見がでた地区に対して重点的に声かけ（※紹介自体は全地区に対して行った）。「話しを聞いてみてもいい」という返事をいただいた地区を社協・地区担当から生協に紹介した。
// 11 月	泉佐野市で生協による移動販売実施
// 12 月 平成 27 年 1 月	泉佐野市「平成 26 年度買物弱者・フードデザート問題への対応に関する意見交換会（経済産業省モデル事業）」に出席した社協・地区担当から、「平成 25 年度地域の暮らしを話す会」の抜粋を配布・報告。
平成 28 年 2 月	社協主催「平成 27 年度小地域ネットワーク活動報告集会」にて、未広地区福祉委員会より、移動販売と地区福祉委員会との連携について報告。
平成 28 年 4 月 以降	報告集会の発表をきいて、新たに実施を検討したい、という相談が社協に寄せられる。町会・生協・社協の 3 者で打ち合わせ。

平成 29 年 6 月 1 日現在、泉佐野市内の 11 町 21 ヶ所（東羽倉崎南町・新安松、東羽倉崎、西佐野台、松原団地住宅、南泉ヶ丘、大木、泉ヶ丘、新泉ヶ丘、鶴原中央住宅、土丸）で移動販売実施。

### ※本事例において、「地域の暮らしを話す会」の果たした役割

泉佐野市では、介護保険計画策定のためのアンケート調査などを通じて、買物に支援の必要な人がいることを把握していました。しかし、実際に移動販売事業を進めていくには、移動販売車の駐車場所の確保など、地元の町会（自治会）との調整がかかせません。「地域の暮らしを話す会」は、個々の生活上の課題を地域のニーズ（課題）「買物支援の必要性」として地域の役員・社協職員で共有する重要な機会であったといえます。

それがあったからこそ、社協の地区担当職員は、町会（自治会）と企業とが協働するにあたっての調整役になれたと考えます。

これからの地域福祉課題の解決に取り組む上では、行政・住民・企業などの間を調整する人（コーディネーター）の役割が大切です。

## ミニコラム

### 社協の地区担当者の役割

泉佐野市社会福祉協議会では、地区福祉委員会の活動を支援する「地区担当職員」を配置しています。

社会福祉分野における援助技法における、地域社会に対する支援技法（コミュニティワーク）を用いながら、地区福祉委員会等の地域組織の支援を行っています。

#### 泉佐野市社協における地区担当者の役割・機能

- ① 組織の運営支援  
…会議の進め方や資料の作成などの助言や支援
- ② 地域福祉活動の進め方に関する助言・支援  
…運営の助言や、他地域の活動見学の調整など
- ③ 担当地区内の社会資源の把握と周知  
…サロン活動の紹介（小地域ネットワーク活動報告集会等での発表の場づくり）など
- ④ 地域福祉活動の担い手の養成  
…ボランティア講座の開催や出張講座の実施など
- ⑤ 活動から発見した福祉課題と専門機関との間の連絡・調整機能  
…ネット対象者の困りごとを発見したボランティアや民生委員に対して専門相談機関を紹介する、地区福祉委員会と福祉施設や企業、行政などが連携できるように間で調整を行う、など

# 各地区ででた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会ででた意見  
(ふせんに書かれた意見)を、すべて書き出しました。



## 日新地区・地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 29 年 2 月 12 日 (日) 14 時 00 分 ~ 15 時 30 分

場 所 : 上瓦屋町会館

参加人数 : 26 人 (上瓦屋 11 人・中庄 6 人・泉陽ヶ丘 8 人・湊 1 人)

参加職員 : 社協 CSW・地域包括・基幹相談・社協地域福祉 G・ホライズン CSW

中 庄

### ① 現在やっている支部活動について

【よかった点】	
支部福祉委員会の出席率が良い。	新しい繋がりができた。
高齢者と寄せ植えをしてよかった。	子育てサロンも順調で頑張っています。
高齢者と春に桜を見に行き、温泉に入って喜んでもらった。	
高齢者と一緒に七夕祭りや、体操(エルダーケアの指導のもと)をした。	
福祉委員会のいろいろな取り組みが、町内会員より高く評価された。	
【しんどかった点】	
子育てサロで参加が多い時少ない時あり。	
子育てサロンで、保育園の応援が忙しく、消極的。	
福祉委員会のメンバーがたくさん出てくれていろいろな施策をしてきているが、町会としても負担にならないように、考えてお願いしたい。	



を踏まえて・・・

### ② これからの福祉委員会について

選んだテーマ⇒《花見の件》

【改善したい事、新しく考えていきたいこと】	
活動内容、場所の変更	花見は新井邸にするのはどうですか。
移動手段はどうしますか？保険にはいりますか？市のバスは検討しますか？	
今年は観劇にしてみると決めた	

### ③ 今後支部活動にてやってみたい事(上記以外のテーマでも OK)

月二回でもだれでも来てお茶を飲めるように(一日中)	団体、他団体などと協力して
---------------------------	---------------

① 現在やっている支部活動について

【よかった点】	
折り紙や手芸など皆で楽しんだ時。	お互いの絆がより深くなった。
高齢者がたくさん来てくれた時。	手先を使っての物づくり
10年間みな団結してよく協力した。	素晴らしいアイデアがある。
高齢者に大変喜んでいただいた事。	
毎回決まった行動では言葉はいらなくなっている。	
毎月のサロンの実施内容に変化があり、アイデアを皆が出せる点。	
【しんどかった点】	
後継者探し。若年者がなかなか集まらない。	



を踏まえて・・・

② これからの福祉委員会について

選んだテーマ⇒《泉陽ヶ丘支部の今後のあり方について》

【改善したい事、新しく考えていきたいこと】	
地区の方に協力していただく(踊り、詩吟)	男性の出席者を増やす(高齢者)
自治会の回覧で活動内容を知ってもらう。	自治会内の芸達者な人に参加してもらう。
福祉のメンバー以外の人への協力を促す。	長生会、福祉委員会との合体
現内容で精いっぱい。手を広げるのは不可能。	

③ 今後支部活動にてやってみたい事(上記以外のテーマでもOK)

自治会役員の中から毎月1名はサロンに参加してもらう。



① 現在やっている支部活動について

【よかった点】	
町会からお金の支援をしてもらえる。	自主防災活動の AED 講習に参加した。
ラウンジやカラオケなど皆楽しそう。	
泉佐野市元気塾に毎回 40 名近くの高齢者が参加してくれている。	
一人暮らしの誕生日祝いに小学生と一緒に行くのが喜ばれる。	
町内会活動にも参加協力していた。(例) クリーングリーン	
毎週月曜日カラオケにみな楽しんで参加しています。	
【しんどかった点】	
一人暮らしの人で会場が遠い人は来れない	支部福祉委員会の規約が無い。
行事に参加できない高齢者の対応を考えたい。	
週一回のラウンジを続けるうえで、自己負担なしで今後とも続けていきたい。内容を充実したものを考えるうえで予算面で町会からの助成金をあげてほしい。	
週一回のカラオケで情報を町会の回覧を利用して呼びかけてほしい。	
現行のラウンジの中身を充実した内容を考えてみては。(食事などを考えてみる)	



を踏まえて・・・

② これからの福祉委員会について

選んだテーマ⇒《現在の活動の強化》

【改善したい事、新しく考えていきたいこと】	
活動に際して、事前の打ち合わせが欲しい。	規約を整備する。
各団体とのコミュニケーションを図っていけばよいと思う。	
町内役員さん今後ともよろしくお願いします。	
福祉委員会の会合を月一回ほど定期的にする。	

③ 今後支部活動にてやってみたい事(上記以外のテーマでも OK)

各種団体が定期的集まる場をつくる。	回覧、宣伝、掲示板(広報の強化)
今やっていることをみんなに知ってもらおう。	

## 佐野台地区地域の暮らしを話す会

日時 : 平成 29年3月 2日 (木) 18時30分~20時00分  
 場所 : 佐野台集会所  
 参加人数 : 37人(佐野台 18人、西佐野台 4人、東佐野台 7人、南泉ヶ丘 8人)  
 参加職員 : 社協 CSW・地域包括・基幹相談  
 テーマ : 支部活動の活性化について  
 ~支部福祉委員会の課題、今後こんなふうにしてみたい希望~

### 佐野台 A

ボランティア・担い手	
協力者のお誘い(増加)。	町会の行事に進んで参加しよう。
行事等に関心をもっといただく。	
場所・もの	
花壇を荒らさないで。大切に。	集会所の使い方。
決まったことは実行する。	掃除。身の回りから。
いこいの場所の公園を。	
活動資金	
リサイクルをきちんと仕分けよう。	募金を集める。
福祉に出すお金を増やす。	新聞、缶、本、ビン。
その他	
たばこの吸い殻をすてるな	家庭から地域へ仲良く
近所の人と仲良く	朝、食事をしない子供さんがいる。
決まりを守らない人。	犬の糞。
挨拶をする。	近所の人たちとの交流。
信号を守ること。	

### 佐野台 B

ボランティア・担い手	
若手がない。	町内に青年部をつくる。
高校卒業の若者。	子ども会育成会から
長生会との連携(見守り希望)。	お助けマン。
場所・もの	
町会内でのフリーマーケット(物々交換)。	いこいの場所を増やす。
空家利用。	藤だな。
公園にベンチを。	公園内に東家

集会所の使用。	町内公園でのコミュニティ。スポーツ。
グランドゴルフ。	
青空市場。高齢者が便利に買い物できるようなマーケットを。	
活動資金	
市、府からの助成金。	町会費から一部。
府よりほしい。	
その他	
海外の人との交流。	防犯灯のムラをなくす。
防犯カメラ。	マジックミラー、カーブ。
道幅広く = 道路確保。	迷惑駐車。

## 西佐野台

ボランティア・担い手	
何をしたいかわからない。	組織が確立していない。
新しく入居する若い人々の集合。	高齢化が進む中で確保が困難に！！
昨年度国勢調査員となり調査をしたところ、独居高齢者の多さと平均年齢の高さに驚いた。	
西佐野台は老々介護の状態となっている。ボランティアといってもなり手があるのだろうか？	
場所・もの	
備蓄の食料品の確保。予算は？	会館ができたので当面の課題は充足。
町内にベンチがほしい。	会館の活用。
活動資金	
町会費の値上げを考えても！でも反対が多いだろうな！	
あればそれに越したことはないが、とりあえず充足。	
好意ある寄付金を募る。	
その他	
先導役がない。	なにかをするとイチャモンが多い。
いろんな団体の活動の重複をなるべく避けて効率的に。	
近隣の交流の中で問題を洗い出してお互いに考える。	

## 東佐野台

ボランティア・担い手	
新規加入者勧誘。若い方。	活動しやすい元気な方。
男性の加入。	一番の課題。特に男性。
町会の役員さんにボランティアのことを話し合ってもらい入会してもらっては？	
場所・もの	
活動拠点の会館の位置。	会館への道路。坂が歩きにくい人への助け
歩道が狭い。車の通行が多く危険。(車いす不可)	
会館への道が一部危ないところがある。歩道があればいい。	
活動資金	
社協の会員を増やす。	
その他	
日頃から向こう三軒両隣仲良く。	空家。空き地。
ペット(犬、猫)	宅地開発による、登下校時の安全確認。

## 南泉ヶ丘

ボランティア・担い手	
高齢化。	若手がない。
男性が少ない。	町会未加入社の参加が無い。
状況を見て手伝う必要性を感じてもらう。	核家族化の弊害。
重い責務でなく、軽い自発性の育成。	人材の広がりが無い。
関心薄。	仲間を増やす。
長生会館での行事が分からない。(町会未加入)	
それぞれの方が出来る事を出来るだけする。	
場所・もの	
公園。	会館。
巡回車を使う。	個人(有志)の家⇒ミニ。持ち回りで。
屋台活動。	
活動資金	
町会からの補助。	行政で予算拡大。
個人より寄付を募る(少額)。	
セルフカフェをする予定ですが、大学生以上の大人は一人100円をもらう。	
その他	
行事の多様性を追求。	若手の育成。
完全ボランティアではなく有償化ミックス。	
小学生、中学生を主としたイベントを増やす。	

## 北中地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成29年2月25日（土） 19時30分～21時00分

場所：鶴原町会館

参加人数：17人（下瓦屋6人・鶴原7人・鶴原中央住宅4人）

参加職員：社協地区担当、地域包括、ホライズンCSW

テーマ：地域の防災について

### 下瓦屋

現在の防災についての感想や大防災訓練の感想	
自転車で来る人がいた	訓練日が寒くて冷えて困った
おまわりさんの話が分からなかった	お話が長くて内容がわかりにくかった
外での受付は寒かった	途中で変える人が多かった
市からエリアメールが入るのは良いと思う	訓練の時でも一応少しの準備をする（敷物）
課題など	
避難ビルの買う帆	訓練日を暖かい時期に変更したら？
古い消火器は市で処理してほしい	防災についての詳しいお話を聞きたい
近隣の人とのコミュニケーションを普段から取り合う	
ケータイを持っていない人、放送の聞こえにくい人への対処を考えて欲しい	
体育館の中が寒かったので、訓練は気候の良い時期の方が良い	
取り組むこと、取り組めること	
独居老人の担当者を決める	近所付き合いを良くする
町内の消火器の配置を細かく	危険な場所を把握する
ご近所の一人暮らしの人に気を配る	日頃から隣人との関係を良くする。
防災の話より映像で説明する方が市民に分かりやすい	

### 鶴原

現在の防災についての感想や大防災訓練の感想	
集まりが悪かった	町民の防災意識がない
意識がうすい	町内放送がほしい
何も分からない	炊き出しがおいしかった
役所の放送が短い、おっと大きく	災害マイク 放送聞こえない
炊き出しのみそ汁がおいしかった	
小学校に車を乗り入れて車の中で避難していいのか	

課題など	
備蓄はあるのか	市の対応はできているのか×2
住民の希薄化	みんなが集まる機会を作ったら
市で備蓄があるかどうか心配	小学校のカギは誰が持っているか
各町内、学校に防災用具を備蓄してほしい	
防災用具をどのように備蓄してくれているのか	
スーパーと提携して食料を避難所に届けてもらうか	
避難所に避難しても何の対応をしてくれるか心配	
北中小学校に備蓄が足りているのか。水、毛布、食糧など	
取り組むこと、取り組めること	
隣組の活用、協力	高層マンションへの避難は出来るのか
回覧板の手渡し、安否確認	避難場所のカギは誰が持っているのか
一人一人の家での準備	
各種団体の定例会でも意見を出し合う、地域の暮らしを話す会をする	
防災の為に学校の空き教室などの活用はありますか	

## 鶴原中央住宅

現在の防災についての感想や大防災訓練の感想	
組織作りができていないので進まない	実感がない
指示が無くて動きがとれない	基盤が出来てない
課題	
高齢者、身体的弱者の対処。避難場所の確保	3日間の食糧の備蓄
防災時の担える者を明確にする	防災用具の備蓄（毛布など）
避難場所を住民に浸透しておく	救急箱等応急処置
簡易トイレの準備	避難連絡板の設置
取り組むこと、取り組めること	
絆づくりの台帳を作る	避難テントの確保
緊急時を想定した取組みについての勉強会	避難場所の確保



## 三小地区・地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 29 年 3 月 5 日 (日) 10 時 00 分~11 時 30 分

場 所 : 新町町会館

参加人数 : 25 人 (旭町 6 名、新町 12 名、春日町 7 名)

参加職員 : 社協地区担当、地域包括、基幹相談、泉ヶ丘 CSW

テーマ : 「環境美化について考えてみよう！」

### 旭町

①今行っている取り組み	
年一回の町会掃除で草引き	近隣の草引き
近隣の犬・ネコのふん処理	有志メンバーで第 1 土曜日ゴミ拾いをしています。(府道の歩道)
現在どの辺りをしているのか? 次の計画予定はどの辺りになるのか	近隣の不燃物の収集
年一回の町会大掃除	三小見守り時の信号付近のゴミ拾い
ゴミ置き場へのネット設置	高齢者所帯でゴミ提出日の問題があり、回収されていないので見守りをしている
近所の雑草の草抜き(自宅周辺と共に)	ゴミ収集場所でゴミ出しの時散乱しているゴミをまとめる
分別ゴミの未回収分の整理	公園の草引き
②良くなったこと	
ネットにより散らかりがなくなった	ゴミ袋の内味が区別化された来た?
フン被害が少なくなった	
③今後の取り組み	
次の清掃部分、地域を。前以て計画を話し合ってたてる	
月一回の粗大ゴミ回収と希望	継続

### 新町支部

①今行っている取り組み	
町会主催クリーンデー	目についたポイ捨てタバコを拾う
自宅前の溝掃除(吸い殻等)	町会館周辺のクリーン活動(町会として)
カラスのフン路上清掃	空地の草むしり
タバコのポイ捨てを止めた	ネコよけ超音波設置
犬のフンの始末をする	ポイ捨て(缶)
家庭ゴミ収集地の整理・整頓	空家の草木の始末(切る)
ゴミ収集後の積み残しゴミの片づけ	敷地内、軒下の緑化

②良くなったこと	
前の溝が良くなった	自分自身の美化意識向上
旧魚市場前のゴミ・小屋撤去された	定点収集場所の新設
細い溝の圧力車による清掃	不法投棄多い場所のゴミ収集を廃止
③今後の取り組み	
個人宅前の溝ふさがりを行政指導	ねこ、鳩等にエサをあげないこと
ゴミ収集場所を金網等でかこう	空地の公園化
町内の溝の定期的清掃の実施	町内会館の花壇の整理（よいと思います）
自宅の周りをきれいに清掃及び緑化	

## 春日町

①今行っている取り組み	
春日公園の清掃	鳩へエサをやる人がいる
タバコのポイ捨てが続いている	集積場に分別できていないゴミ出しがある
集める時間をはって欲しい	収集ゴミのスケジュールを張り出してはどうか
収集のルート時間を知らせて	他所からゴミ捨てにくる。良し悪しだ
円田川のゴミ収集所へのゴミ出し日時がバラバラ	
②良くなったこと・③今後の取り組み	
ゴミに刺激臭のするものをふりかけるとネコ対策になる	
ネコ対策としては良い効果がある	



## 末広地区・地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 28 年 12 月 13 日 (火) 19 時 00 分～21 時 00 分

場 所 : 東羽倉崎南町集会所

参加人数 : 29 人 (東羽倉崎南町 6、東羽倉崎自治会・東羽倉崎町 5、  
長滝第一住宅 8、新安松 6、羽倉崎上町 4)

参加職員 : 社協地区担当、地域包括、基幹相談、社協相談支援 G、泉ヶ丘 CSW

### 東羽倉崎南町

#### 集会所・町会館の活用内容について考えよう～福祉委員会としての使い方～

STEP① 今どんな活動をしてる?	
<b>【福祉委員会】</b>	
春のつどい	秋のつどい
あゆみの会	支部会議
誕生日お祝い	見守り訪問
安全パトロール	コープ販売協力
<b>●良い点●</b>	
買い物が楽で良い	安否確認が出来る
<b>●気になる点●</b>	
安全パトロールの若返り	
<b>【町会・自治会】</b>	
5 月より元気塾毎月 1 回	いきいきサロン、なでしこの会
月に一度棟長会議	ゴミ出しのマナー指導はしているか?
年末夜警 12 月末 2 日間実施	駐車場管理役員で!!
住宅内一斉清掃 1 ヶ月 1 度	交番連絡協議会年に数回
STEP② 福祉委員会として今後できる活動は?	
<b>【今の活動を発展させる】</b>	
なでしこの会を福祉委員会活動にもどす	なでしこの会を毎週開催にする
カラオケ以外の内容も増やす (手芸、ゲーム etc)	音楽体操 (H29.4～)
<b>【新規で取り組む】</b>	
100 円カフェ (税込)	

集会所・町会の活用内容について考えよう～福祉委員会としての使い方～

<b>STEP① 今どんな活動をしてる？</b>	
<b>【福祉委員会】</b>	
支部会議	移動販売時に集会所の開放
春の集い（桜の頃に）	七夕の集い
秋の集い	新年の集い
●良い点●	
移動販売、買い物が近くで出来てうれしい	移動販売で会話がはずみ元気になれる
安否確認ができる	ネットの輪が出来る
●気になる点●	
年中の行事には自治会、町会が合同でやっているが町会館が一つほしい	高齢者が多くなにをするにも人員が不足
<b>【町会・自治会】</b>	
（組長）定例会	4季の集い（春：花見、夏：七夕、秋：外へ出る、冬：新年の集い）等
<b>【その他各種団体（長生会等）】</b>	
シルバー人材センターの班会議	長生会、4季の集い（食事会等）
長生会について火・土に体操（午前中）	小学校の登下校の見守り
<b>【その他サークル等】</b>	
書道教室	絵手紙
すこやか体操	
<b>STEP② 福祉委員会として今後できる活動は？</b>	
<b>【今の活動を発展させる】</b>	
高齢が多いため若い方がほしい	活動をするのも人手が必要だが確保が難しい
★ 声かけが大事	福祉委員、協力員を増やす
移動販売の来てくれる回数を増やしてほしい	
<b>【新規で取り組む】</b>	
★ 誰でも参加出来るサロン・カフェ	検定の受験
小中学生の勉強部屋	会館を作って下さい（町会）
子ども食堂作ってほしい	

集会所・町会館の活用方法について～福祉委員会としての使い方～

<b>STEP① 今どんな活動をしてる？</b>	
<b>【福祉委員会】</b>	
介護予防体操	一人暮らし交流会

マッサージ	カラオケ
茶話会	空き缶、新聞回収（火・木の朝 6 時～8 時）
大掃除（第三日曜日）	
●良い点●	
知人が増えた	草刈り枯葉拾い
引きこもり防止	他の人との会話で防犯の情報が分かる
火の用心、子どもも集まる （12月26、27日）	
●気になる点●	
小中学生のボール遊びが出来ない	ストレスで住宅内の物に落書きする可能性
階段の電気を切る（1日3回）	ベランダに落下物を置く
住宅内に全体が見える防犯カメラ必要	
【町会・自治会】	
棟長会議	カークラブ会議
STEP② 福祉委員会として今後できる活動は？	
【今の活動を発展させる】	
民生委員さんとコミュニケーションを取りたいと思います	男性、女性の協力員を増やす 年代別であれば尚良し！
個別訪問をグループでしたらどうか	協力者を増やす
集会所を勉強できるように小中学生に意見を聞き、勉強に自信を付けてもらう	
【新規で取り組む】	
あいさつを出来るようにする	各棟で2人個別訪問 月2回もしくは第3日曜の掃除の時に一声かける
一人暮らしの方のトイレ等に非常ベルを付け、各警察や消防車に連絡出来るように出来ないか	ゴミ集めは皆です。決まった人がするより全員ですの方が区別、差別を無くす

## 新安松支部

### 集会所・町会館の活用内容について考えよう～福祉委員会としての使い方～

STEP① 今どんな活動をしてる？	
【福祉委員会】	
いきいきサロン（春・納涼）	世代間交流
ちぎり絵	立番パト会議
子育てサロン（月2回）	支部会議（2ヶ月に1回）
機関紙すえひろ会議	
●良い点●	
設備が充実している	

●気になる点●	
子育てサロンスタッフ、参加者不足	会館場所遠い（他町）
【町会・自治会】	
町会役員会	評議員会
夜警	元氣塾
美化活動	市報配布
【その他各種団体（長生会等）】	
婦人会	長生会の定例会（2ヶ月に1回）
長生会の昼食会	
【その他サークル等】	
絵手紙	ちぎり絵
菊花祭	
STEP② 福祉委員会として今後できる活動は？	
【今後の活動を発展させる】	
見えるところに活動報告を貼る	広報宣伝
内容の充実	
【新規で取り組む】	
コミュニティサロン？	★趣味クラブ設立
囲碁・将棋・カラオケ	ブロック班単位で年に何回か話し合いをもつ
ラジオ体操	

羽倉崎上町支部

集会所・町会館の活用内容について考えよう～福祉委員会としての使い方～

STEP① 今どんな活動をしてる？	
【福祉委員会】	
月2回のディスコンクラブ （第1月曜日、第3火曜日）	月1回の支部会議
声かけと見守り活動	
●良い点●	
ディスコンは自由参加	
●気になる点●	
平日の午後からのみ	集会所を使っていない
【町会・自治会】	
市報配布作業	
【その他各種団体（長生会等）】	
長生会カラオケ（週1回、月曜日）	長生会会議（2月に1回）
子ども会会議行事ごと（月1回）	
【その他サークル等】	
詩吟（週1回）	

STEP② 福祉委員会として今後できる活動は？

【今後の活動を発展させる】

ディスコンで世代交流をしてみても 子ども会にて夏休み、冬休み宿題デー

【新規で取り組む】

年末の夜回り実施 青少年指導員 2名

集会所に備える遊具について予算組み 月 1 回集会所開放日



## 一小地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成29年2月24日（金） 19時00分～20時30分

場所：松原町会館

参加人数：39人（本町6名、元町5名、野出町7名、西本町6名、

笠松町1名、松原町6名、松原団地住宅4名、羽倉崎町4名）

参加職員：社協地区担当、地域包括、基幹相談、社協地域福祉G、泉ヶ丘CSW

テーマ：『ふれあいいいききサロンについて振り返ろう！』

本町

### ①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
サロンA	80才以上の方 一人暮らし ネット対象者	お花見交流会	年1回・4月	案内状 口頭
サロンB		カラオケ 交流会	5月・11月 2月の3回	
サロンC		松茸ごはん 交流会	10月	
サロンD		ぜんざい 交流会	1月	

### ②良い点・気になる点

【良い点】	
健康状態の把握ができる	楽しみにしてくれている
【気になる点】	
支援者の高齢化	援護者の高齢にて参加できない

### ③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】	
支援者の増加が必要	
【他に考えられる活動】	
コンサート会や落語会等	健康の話（医師による）
小物作り	



元町

①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
観劇	一人ぐらし 65 才以上の男女高齢者	芝居観劇及び食事会	各年 1 回	対象者に文書で案内
敬老を祝う会	同上	カラオケ・食事会 敬老の日	年 1 回	同上
年末いきいきサロン	同上	社協よりの講演及び食事・カラオケ	同上	同上
親睦会	町内住民すべて	食事・カラオケ ゲーム（子供） プレゼント抽選	2 年に 1 度	各家庭に回覧

②良い点・気になる点

【良い点】	
皆が大変楽しんでくれている	
【気になる点】	
送迎の事故が心配	出席メンバーが決まっている
子どもの参加が少ない	

③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】
現在活動してくれている人の年齢が高齢の為、活気が出ない。 よって中心になってくれる 50 代～60 才迄の人を中心になってもらう。
【他に考えられる活動】
元町としてはコミュニティカフェを開き、お茶会と共に雑談会、 そして何年かに一度講師に来てらって講演会を考えている。

野出町

①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
さわやか交流会	65 才以上高齢者 （協力員足して 60 人～50 人）	食事会 ビンゴゲーム 研修・体操	年 1 回	チラシを作成し市報で届ける
夏祭り （大人・子ども会）	町内会全員	子ども→お菓子配布 大人→スイカ	年 1 回	回覧板

## ②良い点・気になる点

【良い点】	
参加者多数	毎年楽しみにしてくれている
みこしが町内まわる	世代間交流ができる
どこの子ども、青年か分かる	親睦感が up する
【気になる点】	
会館満員	福祉委員が少ない
準備後片付け大変	かき手が少ない
乗り子があるか？	ケガをしないか心配（保険に入っているが）

## ③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】	
催物同じものにならないように考える	他の町、青年団の友人、かき手の応援を求め る
乗り子の予定は事前に確認しておく（該当無き時青年団と話しをする）	
【他に考えられる活動】	
カラオケ入ったらシャッピー体操	

西本町

## ①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
いきいきサロン	70才以上 約100名	12支作り 観劇・紙芝居	年3回	封書で案内状 名前入れて
バスで研修会		おどり		
温泉と食事		カラオケ		

## ②良い点・気になる点

【良い点】	
和気合々楽しんでいる	食事等提供する
元気な顔が見れる	
【気になる点】	
男の人が少ない	参加する人だいたい同じ
めんどろな事はイヤみたい	

## ③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】	
男の人が参加できる内容を考える	将棋、麻雀等

【他に考えられる活動】	
会館を大いに利用してコミュニケーションの場を作る	=誰が責任者になるか？

松原町

### ①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
サロンA	お年寄りと他町の方	サロンド松原	月2回 1と3	回覧板 掲示板
サロンB	若いお母さん 民生委員 幼稚園先生	子育てサロン	月2回 1と3	
サロンC	お年寄りとお母さん、 子ども	子どもだんじり	年1回	
世代間交流	全体（町内会）	納涼大会	年1回	回覧板 掲示板
		もちつき大会		
		カラオケ大会		
		夜警		
		美化運動		
高齢者交流会	町会	花見		

### ②良い点・気になる点

【良い点】	
顔が見れる	良い時間を持てる
元気で来てくれる	状況把握
おしゃべりが出来る	
【気になる点】	
世代交代がうまくいかない	誘わないと来てくれない
時間が重なる	子どもの参加が少ない
町会に入っていない子どもがある	

### ③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】	
誘い合わせる	PRする！
他町の子どもも入ってもらおう	ホームページの活用をしてもらおう
【他に考えられる活動】	
子ども食堂にチャレンジ	

松原団地住宅

①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
カラオケクラブ		みんなで楽しく集う	毎週水曜日 13:30~15:30	回覧板 掲示板を以て
シャッピー体操		みんなで楽しく身体を動かす	毎週日曜日 10:00~	回覧板 掲示板を以て
いきいきサロン		みんなで楽しくおしゃべり	火・木・土 9:00~12:00	回覧板 掲示板を以て

②良い点・気になる点

【良い点】	
年齢を問わず、誰でも参加できます	見守りのかわりになっている
顔の見える関係ができています	みんな楽しんで参加している
【気になる点】	
一つのサロンに行ったら気をつかう	

③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】	
継続と新しい人の参加を目指す	
【他に考えられる活動】	
集会所といきいきサロンに於いて新たな使い方を検討します	高齢者夫婦に於いて、対象の行事ごとを検討します

羽倉崎町

①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
サロンA	町内全住民	ディスコン 4チーム 24名	月3回 第2金、第4金土	掲示板 回覧板 参加者にはプリントにて案内
サロンB	70才以上	おしゃべり ふれあいのつどい	年1回	回覧板 個別訪問

## ②良い点・気になる点

【良い点】	
楽しい、健康的	生活に目標が出来る
見守りがわりになる	認知予防
食事ゲームおしゃべりなど楽しい	笑顔になれる
【気になる点】	
男性が少ない	バスで外に出る時は体調が気になる
多人数の為出欠を取るのがむづかしい	

## ③今後のサロンについて

【今の活動を発展させる】	
福祉より予算がほしい	持続させる
ディスコンの備品他	
もっとPRする	
【他に考えられる活動】	
おしゃべりサロンの計画	子育てサロンの実施
「いこいの家」の活用を考える	

笠松町

## ①今のサロンについて

	【対象者】	【内容】	【頻度】	【案内方法】
サロンA	65才以上	ディスコン	第1・第3木曜日 AM10:00 ~ 12:00	毎回個人にプリントで配布
サロンB	ボランティア	ディスコン	第2木曜日 PM1:30~3:30	
サロンC	65才以上の 一人暮らし	ふれあいの集	年2回	プリントで案内

## ②良い点・気になる点

【良い点】	
皆さん毎回楽しみにして下さっております	健康に良い。参加者が輪になって話している
ディスコン大会に向けて皆がんばっている	
【気になる点】	
ふれあいの集、70才以上の希望者にも参加して欲しいのですが・・・ 人数が多すぎて・・・	

## 長滝地区・地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 29 年 2 月 8 日 (水) 19 時 00 分~20 時 30 分

場 所 : 長滝第一会館

参加人数 : 55 人

(安否確認班 : 11 名、救助班 : 15 名、消火隊 (消防団含む) : 21 名、給食給水班 : 8 名)

参加職員 : 社協地区担当、基幹、包括、ラポート CSW、行政 (市民協働課防災担当)

テーマ : 今年の防災訓練を振り返ろう! ~次年度につなげるために~

### 安否確認班・本部

今年度の防災訓練で感じた課題・問題点	
末端までの安否確認をどうするか	隣近所の家族構成を把握する
ひとり暮らしの老人の方や障害者の方で救助登録されている方を民生委員が (東中西) で覚えておかなければいけないと思います	
まず自分の生命を大事に第一に考える	自分の事は自分を守る、次に人を助ける
安否確認のとき、みんな声を出し合う	人員の数
人数確認	町会員外をどう確認するか
町内全員をどうして確認するか	地域の連絡を密にすることは大切であると思います。
いざとなればパニックになるので、普段から心の片隅に心がまえを持っておく	
あまりすることがなくて手持ち無沙汰でした。実際の時、安否確認できるかどうか疑問です。もっと具体的に訓練した方がいいと思います。	
見守り途中で一人暮らし該当者以外の人を見つけた時どうする	
報告についてホワイトボード小さく思った。字を書くのに名前の漢字が解らなかつたり手間取った	
もっと素早く出来るように考える	
民生委員としては、担当の一人暮らしのお年寄りを日頃から見守りしていますのでその人を見に行く。	
まず災害が発生した時は、まず自分が怪我等しないようにする。怪我をされていては助けに行けない	
ではどうして自分の身を守りいち早く助けに行けるのか	
次年度どのようにしていくか	
隣組単位で報告する	図上訓練で日頃から自分の担当範囲を確認しておく
民生委員だけでは人数が少なすぎる	
今年の課題と次年度具体的に行うこと	
今年度は人数が少ないという課題点があったので、次年度は隣組長が安否確認をしてもら	

う。隣組長の参加をしてもらおうと思います。

今年度は町外の安否確認について課題点があったので、次年度はできるだけ町内会に入ってもらおうと思います。

### 救助班・救助隊

今年度の防災訓練で感じた課題・問題点	
担架を持つ人の力や身体長が異なるのでけが人が落ちる恐れがある	
女性の救出方法について	夜間の救出について人、ものの準備が出来ているか？
あらかじめ用意された車イスやリアカーを使用できない場合を想定する必要はなかったか？	
避難場所、経路はみなが周知していたか？＋役割の周知徹底	
救出経路に障害物等があった場合	もう少し救助と手当の説明がほしかった。知らない内に本部に来ていた
ラポートデイサービスの救助について、今年度救護者が歩行可能者であったが現実的ではないと思われる。	
役員は防災の体制を訓練等で知り得ているが、町民への周知のための広報は？	
安否確認（もっと詳細に）	
次年度どのようにしていくか	
担架から落ちない工夫	女性の救出に際して、女性のプライドをキズつけないような配慮が必要
救出の際の車イスやリアカーがない場合を想定して考えておくこと。	一輪車、戸板等あるものを利用する
救出に対処する人は各自必要な（電灯、ロープ、長靴）等を持ち寄ること	避難場所、避難経路についてはなぜ決めたか理由等が理解できれば動きやすい
障害物の撤去の訓練も必要ではないか	町民への防災の広報活動を日常しておくべき
歩行不能な人の救出も経験すべき（そのためには救助班の人数を多く確保すべき）	
今年の課題と次年度具体的に行うこと	
今年度は、救出について、人ものの準備が出来ているかという課題点があったので、次年度は救出のための車イス、リアカー等を準備、話し合いをしようと思います。	
今年度は夜間の救出訓練が想定されていないという課題点があったので、今年度は救出に対処する人は普段から懐中電灯、ロープ、長靴等を用意しようと思います。	
今年度は、防災の体制を役員以外の一般町民への周知活動ができていないという課題点があったので、次年度は一般町民への防災の広報活動を日常的にしようと思います。	

### 消火隊・消防団

#### 今年度の防災訓練で感じた課題・問題点（消火隊）

本当の災害を想定した本部⇄火災現場連絡手段が不明

バケツの数が災害時に足りるか？	ヘルメットが足りない
本当の火を消してみたかった	(消火点)では現実味に欠けた
消火剤の入った消火器にて使用したい	
<b>今年度の防災訓練で感じた課題・問題点 (消防団)</b>	
この前のトランシーバーでは役に立たない	消防団以外の方が小型ポンプを使えるように
警備班と掲示班との違いが聞き取りにくく、実際の災害時には聞き取りやすい言い回しを考えてもいいかも	
防火水槽が少ないので水の確保が難しい	
<b>次年度どのようにしていくか (消火隊)</b>	
バケツを買う	消火に必要な備品を出来るだけ自分の物も持っていく
消火器以外での消火の方法	安全な場所で実際に火をおこし消火する
どのくらいの火であればその場で消せるのか実際にやりたい	
<b>次年度どのようにしていくか (消防団)</b>	
トランシーバーの充実	町会で練習してもらおう！
例えば警備を見廻りにするとか	市の方で防火水槽を増やしてもらおう
<b>今年の課題と次年度具体的に行うこと (消火隊)</b>	
今年度は消火訓練としては、現実味がうすかったという課題点があったので、次年度は安全な場所で実際に「薪」などに火をつけて消火訓練をしたいと思います。	
今年度は防災のための備品 (バケツ、消火器、ヘルメット等) 少ないという課題点があったので、次年度は役所の予算で手当てをお願いしたいと思います。また家にあれば自ら持参しようと思います。	
<b>今年の課題と次年度具体的に行うこと (消防団)</b>	
今年度は町内の人達が小型ポンプやトランシーバーを使えないという問題点があったので、次年度は町内の人達ももっと使えるようにしようと思います。	

## 給食給水班

<b>今年度の防災訓練で感じた課題・問題点</b>	
事前に材料など準備したので、時間内にできたが被災直後は到底無理な炊き出しだと思う	
机に並べた形だったので温かい豚汁を食べてもらえない方もいたと思う	
みんな協力し合えた	量の計り方がわからなかった
豚汁で一人分の分量を理解できてなかったなので、最初に入れた分は、具も含め少なかったと思う	
量が分からなかったのでたくさん余った	調理用具を各自持参しなければ、何もできなかった
ごはんおいしかった	思いの外おいしく炊けたと思う
分量が難しい	アルファ化米もよいが、みんなでご飯を炊く経験も必要であると感じた



前日から準備・・・大変やった	子どもを火から遠ざけるのはあかん
燃料の確保が必要	炊事場が狭い。水仕事が大変
レシピがあったので助かった	ガス釜の調子が悪かった
調理器具の点検	食器類が準備できるか？
給食給水の段取りがメチャ大変そうだった	道具の（釜）使い方が不慣れであった
皆んな協力的で時間内に出来上がった	参加者を増やす
外に何か所が水道がほしい	各自の手法があり伝達が難しかった
本番では物資が集まるかどうか？	食中毒には気を付けないと
食中毒は大丈夫か？	参加者をいかに多く集めるか？
材料を切るのが大変で大部分家で切っていた	材料を買うのが大変だ、量が分からない
炊事場が狭いので水道のホースなどを外で使えるようにしてほしい	
<b>次年度どのようにしていくか</b>	
被災直後に利用できる非常食は、どんなものがあるか知っておきたい	
町の備蓄には非常食はありませんか？	子どもにも火のおこし方を教える必要がある
ガス、電気がない時は？	水道の改善、水仕事ができる様に
ラップを用いておにぎりを作る	薪で一度炊いてみる
町内で調理用具を必要最低限そろえてほしい	本番を意識して家にあるもので作ってみる
計量カップがあれば目安となると思う	水道が止まった場合、水の確保ができるか
食材をめいめい持ちよってもよい、それで料理をしたら	
<b>今年の課題と次年度具体的に行うこと</b>	
今年度は水の使用が一か所しかなかったという課題点があったので、次年度は水道をいくつかに分けて使用できるようにしようと思います。	
今年度はごはん、ぶた汁の作る分量が分からなかったという課題点があったので、次年度は1回の作る分量を少な目にしようと思います。	



## 上之郷地区・地域の暮らしを話す会

日 時：平成 28 年 12 月 15 日（木） 19 時 00 分～21 時 00 分

場 所：上之郷小学校 多目的室

参加人数：22 人（母山 3 人・女形 3 人・下村 3 人・郷田 1 人・机場 3 人・上村 2 人・  
中村 6 人・学校関係者 1 人）

参加職員：社協地区担当、基幹、包括、レポート CSW

テーマ：今の町会の在り方について

### 中村・下村・郷田

良い所・メリット	
人と人との助け合いつながりがよい	地域で子供の安全に見守りが良い！
アイサツが出来る	だんじり祭と楽しみが有る
地域のまとまりがいい	結束力ある
住民はおだやか	隣組の付き合い等で、絆が深い
自然が豊か、空気がきれい	自然がいっぱい
環境が良い。（空気がきれい。）	府の公園が近いのでいい
山が近くて緑が豊富	美しいため池がある
〇場整備ができています	散歩にはよい所
静かで住みやすい	しずかでのどか
野菜がおいしい	
課題・デメリット	
コンビニか 24 時間のお店がない	医者もコンビニもない
何も無い、コンビニ・スーパーetc	コンビニ、病院がない
医者がない、金融機関がない、商店がない	交通が不便
老人が多い、外に出て来ない	動物がいっぱい、猫、犬
街頭の数を増やしてほしい（少ない！）	古い慣習がある
カフェがない（ゆっくりとお茶タイムしたい）	
新興住宅者とのお付き合いを広めたいが方法が分からない	
今後どうしていくか	
街灯を増やす	お年寄りが集まれる場所を
COOP の移動販売があれば	子育てサロンへの参加を呼びかける
通院の送迎手段が欲しい（介護タクシー、福祉輸送タクシーの情報提供）	
新興住宅の住民に町会や子ども会への加入促進	

上村・女形

良い所・メリット	
老人が元気	長生会の登下校の見守り活動
自然が多い	自然が豊か
災害が少ない	グリーンベルトが出来た
飛び出し人形設置は良かった	自然がいっぱい
静かで空気がきれい	一緒に川堀池の草刈りを行うこと
祭りの盛り上げに各町協力しているところ	祭りの終わった翌日には各町協力して清掃
ぬくもりの郷がカラーで実施出来ている	地域の安全、子どもの見守りに協力的
みんな協力的	祭りがある
情深い	地域社会のつながり
隣、近所の付き合いが深い	
子育てサロンを設立して継続出来ているところ	
課題・デメリット	
町会加入率が低い	高齢化の進展
他人を干渉しすぎる	公共交通機関少ない
交通が不便	交通が不便
車のスピードが速く危険	狭い道と曲がった道が多い
郵便局、金融機関がない	金融機関なし
歯医者さんがほしい(虫歯治療率が低い)	無医村
医者がない	医院等がない
買い物不便	コンビニなし
今だにコンビニ等の店がない	
今後どうしていくか	
氏が街づくりビジョンを	町会加入キャンペーン ( )
スピード違反の取り締まり→警察へ	診療所(出張所)
“ぬくもりの郷”を継続して、町会未加入宅に配布する	
自然を生かしてもう少し子どもが遊べる遊具を充実	
郵便局再開(2017年8月～)JAのATM設置	
コミュニティバスの逆回り新設	

## 机場・母山

良い所・メリット	
自然が美しい	空気、水がきれい
公園が近くにある	自然にめぐまれている
町内が広い	となり近所のつきあいがある
野菜がおいしい	駐在所がありメリット
災害が少ない	温暖な気候
日根野駅で必ず座って電車にのれる	
課題・デメリット	
交通の便が悪い（車がないと何もできない）	医療機関がなし
買い物不便	下水道なし
コンビニが無い	金融機関なし
隣近所の付き合いがなくなった	
今後どうしていくか	
喫茶店、住民のサロンのような所がない	



## 大土地区・地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 29 年 1 月 28 日 (土) 19 時 00 分~20 時 30 分

場 所 : 土丸町会館

参加人数 : 32 人 (上大木/9 人、中大木 4 人、下大木 2 人、土丸/17 人)

参加職員 : 社協地区担当、基幹、包括、レポート CSW

テーマ : 地域の防災について

### 犬鳴組

現在の事について 感想など	
避難場所が 1 ヶ所でいいのかどうか	上大木 大水の時は孤立する
土砂崩れ・大水	上大木 逃げる所が無い
課題や問題点	
上大木から大木交流棟まで道が危険すぎる	車での呼びかけ 聞こえにくい
11 月の市内一斉の訓練の参加	
次年度、取り組める事	
緊急のためのヘリコプター出動要請	緊急防火訓練の研修をしてほしい
一番の課題 大きな橋・橋の強化・道をつけてほしい	

### オラが町は、オラが守る

現在の事について 感想など	
防災について意識がうすい	防災訓練の参加者が少ない
避難したことがない (大雨・土砂崩れ)	消防団が活動している
土砂災害が起きたら孤立する	避難所へ行くまでが危険
避難所が危険	避難する場所が遠い
防災無線が分かりにくい	避難するほどの大きな災害がない
年寄りが多くて避難できるか不安	
課題や問題点	
過去の災害を忘れてしている	他人事のように感じている
消防団のなり手がいない	幹線道路が少ない (一本しかない)
上大木の避難場所 (れんげ寺) が危険	わかさき (おくま) には避難所がない
避難所を運営したことがないので実際にできるか不安	防災無線のテストをしたことがない (役所は えーかげん)
泉佐野市防災の日 (昨年は 11 月 6 日) の周知徹底していない	
次年度、取り組める事	
防災の意識について講習をする	残った若手を勧誘する
行政に道を作ってもらおう	上大木・下大木の避難を見直す (再整備)

## ドマール

現在の事について 感想など	
道幅が狭いため、消防車が入るか心配	高齢者の安否
隣近所の家族構成が分からない	土丸会館にガスがないか
ハザードマップになっているところの崩壊が心配	
避難所指定が取れていないので日根小まで行けるの	
課題や問題点	
防災訓練を定期的に行う	お年寄りの自力で歩ける人歩けない人の確認
台風・大雨に備えて農業用水の整備	
ひとり暮らし高齢者の生活状況が把握できていない	
次年度、取り組める事	
避難所指定できる建物をつくる	高齢者の生活状況がわかるようにしたい

## ドマール消防団

現在の事について 感想など	
避難場所が内（年寄）	防水訓練
会館トイレくさい	夜警パトロール（年末）
林野パトロール	
課題や問題点	
トイレ（会館）ウォシュレットにしてほしい	災害時収容できる？
非常食の確保	さむさをしのげるか
災害グッズ	炊き出し用具がない、出来ない
次年度、取り組むこと	
家族の安全確認の方法を話し合っとく	会館大丈夫？
耐震整備大丈夫？	防災訓練を通じて町民との交流
災害時の自家発電の準備	組長がひとり暮らし老人を把握（寝室）

## 土丸え〜チーム

現在の事について 感想など	
町内道が狭く火災時の対応	災害が起こる危機感がない
地域の全員が防災員である	火災防止の為、空き家を減らす
福祉について、若い協力者が少ない	土砂崩れ火災が心配、水源確保等
課題や問題点	
空き家が増える傾向にある	住民の高齢により災害時の人材不足
府・市の補助が少ない	排水が不十分である

火災時消防車が入れない	
最近火災の時の死者が多い。その対策を考えたい	
子ども年寄りの顔、年寄りはお孫さんの顔が分かっているか？	
次年度、取り組めること	
高齢者家庭の見守り	避難場所の整備
若い人達に発送と行動を期待します	
農業用水路、家庭排水等が同じの為、簡易の下水道が必要	

## 天災

現在の事について 感想など	
避難場所が遠い 1つのみ	高齢者が多い
孤立集落の可能性	道路が狭い
車での移動になると、渋滞するのでは？	防災訓練を全員で行う
空き家が増えている	山崩れの心配がある
課題や問題点	
避難場所を増やす	1人暮らし高齢者の安全を図る
山崩れなどによる道路の通行止め	大雨による水が溝より溢れでる
地域住民の防災意識の低さ	防災アナウンスが良く聞こえない
孤立した時には食料品はどうするのか？	
次年度、取り組めること	
防災訓練に参加 積極的に	防災グッズを備える 食糧・飲み物
避難雄際の連絡網の周知	連絡網のやり直し 住民参加の
チームワーク	



## 長坂地区・地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 28 年 11 月 15 日 (火) 19 時 00 分~20 時 30 分

場 所 : 次世代育成地域交流センター

参加人数 : 32 人 (新泉ヶ丘 3 人・泉ヶ丘 6 人・下瓦屋南 4 人・鶴原北住宅 4 人・貝田町 6 人・新家町 7 人・鶴原東町 2 人)

参加職員 : 社協地区担当、包括、基幹、社協相談支援 G、ホライズン CSW

テーマ : 地域の取り組みについて (鶴原北住宅)

福祉委員会で行える避難支援について (新家町・泉ヶ丘・下瓦屋南町・新泉ヶ丘・貝田町・鶴原東町)

### 鶴原北住宅

課題	
若い人の参加が少ない	福祉委員会の協力員が高齢化している
自治会の役員は 1 年で交代する	
次年度への取り組み	
住民ぐるみで参加できる催しをする	交流できる何かがある
自治会の会議に出席する	自分たちの活動を伝えていく
話す機会をもつ	
月 1 回の組長会議、地域の福祉委員の方にも参加して頂いて、その時に社協に来てもらって、目的・今の地域の現状を知ってもらう	

### 新家町

大防災訓練の感想	
老若男女が参加する方がいい	組織が必要 (引率リーダー)
避難集合後の行動についての説明も必要	避難所としては小さい
長坂小への移動 グループで (10~15 名程度)	
課題	
防災訓練を希望	飲み物 (水) がほしい
水・食料準備	活動中心メンバーの全年齢化
避難経路が確立されていない	井戸のある家
次年度、福祉委員会として取り組み事	
避難所での手助け	ひとり暮らし安否確認



## 泉ヶ丘

大防災訓練の感想	
実際の時には上手に誘導していけるか心配	無線放送は1か所で、全域は聞こえなかった
ブロック長の役割が大事だと感じた	行事がある場合さそってあげる
家族との連絡場所をしっかりと確認する	備蓄について対応していない
訓練を重ねる事に意義を感じる	避難場所が泉ヶ丘にはない→奥池か？
避難場所までが遠すぎて意味がないように思った	
坂道が多く高齢者にとって避難行動は辛い	
津波の時は長坂小まで無理。泉ヶ丘独自の場所を！	
広報に力を入れたので多数 120名以上の参加があった	
泉ヶ丘 121名参加。思ったより多くの参加あり	
身体障害者への連絡対応について問題あり	
1人でいる老人の家に行って一緒に避難してあげる	
課題	
泉ヶ丘としての独自の避難場所がない	障害者、高齢者に対する対応
無線放送が全域に聞こえない	訓練の継続が必要
備蓄対策がなされていない	
次年度、福祉委員会として取り組む事	
「絆」の活用 パイプを太くする	個人で対応する様指導
行政で応援も考える	避難場所について調達し対策を考える
無線放送の確認を市に依頼し対応策を考える	
町内会としては定例的に実施（来年11月第1日曜日）	

## 下瓦屋南町

大防災訓練の感想	
車いすをおすのが大変でした	センターから長坂小学校に行くところ
まず自分がどこへにげるか考えておく	会館に行く、畠に行く（にげる）
家族で十分話し合う必要あると感じた	家族の避難場所の確認
自分が災害の時にどこにおるかでいろいろ変って来ると思う	
交通のせいで一斉パトでやっている人には、はたをもつてやる	
まず自分の家のにげる場所のかくにんをしておく	
課題	
自主防災組織	トイレの設置
若い人が少ないことが問題です	1人暮らしの人、高齢者の人、安否確認をする
食として又家で水、米はかく家かくほすのも大事では	

## 新泉ヶ丘

大防災訓練の感想	
高齢者の出席が少ない	避難経路を考える
出席予定者が避難場所へ来ない！	経路が遠い
ビデオがよかった、もうひとつでした	
体育館で終了時、何んだこの程度なのかという空気あり。工夫を！！	
体育館での講話内容がインパクトがない、弱い	
課題	
支援者の係を決める	災害によって避難場所を考える
助け合いの心が必要	要支援者の情報を知る
災害時の組織が体系化されていない、混乱すると思う	
地震、大雨、台風が年々多くなっているので自らで守る意識大切	
日本のみならず地球全体が壊れはじめているのでは？	
次年度、福祉委員会として取り組む事	
被災地の実情、対策等、生の話しが聞きたい	災害時のパワー
過去の被災者に学ぶため体験談を聞きたい	町会での防災訓練が必要
町会全体の行事を定例化して融和を図る	
防災グッズの展示・説明をすると現実味が増す	

## 貝田町

大防災訓練の感想	
防災無線が聞こえない	市の放送が聞こえない
子供の参加者が少なかった	参加人数特に高齢者が少ない！！
他町との合同が良かった	緊張感を持ってない
本番になれば楽しそうな調子ではない	82名の参加者が集まってくれた
自分は大丈夫という意識がある	参加者で新住民が少ない
市の役割が無いに等しい！	青年団による道案内が良い
身体に障がいのある人は大変だと思う	大きな地震の場合は動けないと思う
身体が不自由な人には車いすがほしい	
避難場所（高いたてもの）が近くにあれば良いと思う	
ひなん所での時間（町別でならばとか）がもったいなかった	
小学校の入口の門が（坂門）あけられていない	
だんじり保存会と青年団の協力でスムーズに行なえた	
課題	
体育館が非常に狭い	要支援者の避難のしかたが課題
各町のプラカードが必要	参加者の増員方法
絆づくりの対象者の参加をどうするか	訓練において現実味を増す
交差点の案内人が不足	班長の確定（組長）

体育館での各町の場所を決める	訓練において危機感を増すような演出
校区内の企業への呼びかけはどうか？（災害が昼間におきた場合）	
指定避難所を増やしてほしい（全員避難できない）	
市が事業所に対して避難場所の確認を徹底させておく	
<b>次年度、福祉委員会として取り組む事</b>	
要支援者の参加をどうながすか	ネット対象者への啓発
要支援者の把握も必要	近所同志の声かけをもっとする
防災、減災意識の浸透	隣り近所への声かけの徹底から
防災（備蓄）倉庫が要る	町のユニホーム（ジャケット）をそろえる
いきいきサロン（高齢者対象）で防災意識を高めるようにする	

## 鶴原東町

<b>大防災訓練の感想</b>	
場所は近いのであまりむりはなかった	実践などをふまえての講演が聞きたかった
講演内容わかりにくかった	
<b>課題</b>	
車イスなどを使ってすればよかった	防災個人グッズをそれぞれ用意しておく
病人をどうするか対応策	
要援護者へネットづくりひなんするための対応策	
参加者は元気な人ばかりでした。高齢者（障害）のある人も参加できればよかった	
<b>次年度、福祉委員会として取り組む事</b>	
支援者（高齢者のみ）への名簿作成 ひなんするまで	
住民同志のつながり 支え合う仕組みづくりを考える	
地域内に避難場所が3ヶ所あるため班長が集約をとる	



## 日根野地区 地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 28 年 11 月 19 日 (土) 19 時 00 分~20 時 30 分

場 所 : 日根野町会館

参加人数: 44 人 (東上 6 人・久の木 3 人・中筋 5 人・西出 4 人・野口 3 人・西上 6 人・  
新道出 5 人・野々地蔵 6 人・俵屋 6 人)

参加職員: 社協地域担当、基幹、包括、ラポート CSW

テーマ: 町会への参加・活動促進について

### 久ノ木・西出

現在行っているイベントや町会加入促進のために行っている事	
ゴルフコンペ年 2 回 (西出)	年末夜警
ゆめくらぶ (福祉)	カラオケクラブ×2
美化運動	川掘り (5 月に一斉実施)
介護予防、音楽体操	まくら祭り
キャンプ (子ども会)	世代間交流 注連縄編 (12 月末)
ゆ祭り 五社音頭	郷土芸能参加
廃品回収 (子ども会)	初天満宮 (1 月)
地蔵さん、灯ろうさん	クリスマス会 (子ども会)
LED 電灯	
次年度、福祉委員会として取り組むこと。(イベントなど)	
介護研修	フォークダンス
カラオケ大会	歩こう会 (登山)
防災研修	住居人等の把握

### 俵屋

現在行っているイベントや町会加入促進のために行っている事	
高齢者見守り、声かけ訪問 (月 2 回)	敬老の日プレゼント
クリスマスケーキプレゼント	長生会食事会 (3 月)
カラオケ (月 2 回)	大峰登山、行者講
会館使用料無料	子ども 110 番、登下校の見守り
子育てサロン 町会員優遇	市報配布
回覧板	各組当番制そうじ (町会館、町内全域)
災害時安全確認	防災研修会 (年 1 回)
街灯・防犯灯	
次年度、福祉委員会として取り組むこと。(イベントなど)	
次年度継続	避難経路 (防災マップ)

## 西上

益踊り		募集チラシ配布
町内会費均一化		子育てサロン
認知体操開催		元気塾（カラオケ体操）
青年団（川掃除）		子ども会（みこし）
加入費ゼロ		募集説明会開催
住民税の軽減（町会加入者）		加入・未加入の差別化
加入のメリットの説明		ふるさと納税のようなものを行政に要求
去年の要求事項が検討されていない		

## 野々地蔵

現在行っているイベントや町会加入促進のために行っている事	
ココモ体操	元気塾
ハボタンの鉢植え	長生会カラオケ
食育健康研修会	子ども会活動
清掃活動 クリーングリーン作戦	
次年度、福祉委員会として取り組むこと。（イベントなど）	
継続するように努力	

## 野口・中筋

現在行っているイベントや町会加入促進のために行っている事	
世代間交流	夏祭り・納涼大会
美化運動 年2回	まくら祭り
一斉パトロール	子ども会からの町会へ加入をすすめる
個人的に声をかけ町会に誘う	
次年度、福祉委員会として取り組むこと。（イベントなど）	
入会金を市が負担	イベントに対する市からの補助金を
入会金を下げる	隣組加入の声かけ
町会美化運動に参加してもらう	転入時に市役所での町会加入の案内を渡す
入会のための「しおり」づくり	子育てサロンから町会への加入をすすめる
子どもを通じて加入促進	町会館を利用したサークル活動をする
ミソ作り・ヌカズケ作り	いなか料理の講習会
家庭菜園講習会	掲示板に案内
まくら祭りの枕の作り方を伝承する	未加入世帯にはチラシ案内（ポスティング）

## 新道出

現在行っているイベントや町会加入促進のために行っている事	
川の清掃 年4回	PC教室 月1回
お楽しみ会 年2回	週一回の太極拳
3ヶ月に1回段ボール・古新聞集め	牛神の世話 年1回
毎日する三徳地蔵さんの世話	カラオケ 福社会
月一回の元気塾	防災訓練 年1回
食事会 年1回	
次年度、福祉委員会として取り組むこと。(イベントなど)	
未加入者への広報として掲示板を増やす	子どもさんのよろこぶイベントを増やす
準町会員を増やす	講演でのラジオ体操
高齢者の見守り	

## 東上

現在行っているイベントや町会加入促進のために行っている事	
まくら祭り	ゆ祭り
防災訓練(町会)	隣組新年会
子ども会イベント	福祉委員会クリスマス会
一人暮らし声かけ運動	長生会カラオケ 月3回
長生会お花見	長生会新年会
長生会忘年会	
次年度、福祉委員会として取り組むこと。(イベントなど)	
福祉委員会の活動を紹介	町会のお知らせ 全戸配布
各団体の活動内容のお知らせ	町会館の開放(月?回)
町会館を使いやすく(料金など)	町内会 未加入の人の意見を聞く
既存の意識改革	桜公園の活用
町会入会金の減額	

## 南中地区・地域の暮らしを話す会

日時：平成28年9月2日（金） 19時00分～20時30分

場所：南部市民交流センター

参加人数：36人（安松9、岡本9、樫井西9、樫井東9）

参加職員：社協地区担当、包括、基幹、社協地域福祉G、ラポートCSW

テーマ：地区ごとに相談して決定

安松

### 地域活動への参加

これまでに行った取り組みについて	
防災訓練	墓地清掃
運動会	盆踊り高齢者招待
だんじり	老人の家を回る
花見	子育てサロン
小学生との昔遊び	公園の掃除
登下校の見守り	昼食会
長生会若狭、北陸一泊旅行	長生会は忘年会、新年会
盆踊りの催しをいろいろと工夫して少年、青年に焦点をあてた	カラオケ体操
町内清掃	年末の夜回り
来年こんな風にやってみたい	
運動会の案内をスピーカーを通して広報活動する。	町内会に必ず入ってもらう。各行事に年齢に関係なく参加してもらう。
防災放送を町単位で可能にする	隣組の組長から各行事のアナウンスをする
各種団体の長から（行事の）参加要請	子育てサロンの案内を町会未加入のマンション等へ投函
今年は昨年以上結集します	若中会・消防団
長生会が主になりPR活動をする	
イチオシ企画	
隣組の組長から各行事のアナウンスをする	各種団体の長から（行事の）参加要請
子育てサロンの案内を町会未加入のマンション等へ投函	
今年は昨年以上結集します	長生会が主になりPR活動をする

岡本

### 災害時にわが町の被害を最小限にしよう

これまでに行った取り組みについて	
安否確認	ハザードマップ
道路の整備	照明LED化

<b>来年こんな風にやってみたい</b>	
今年度、防災訓練を実施	防災訓練時、独居者の安否確認を実施する
隣組組織の利用	年寄りの移動方法
ハザードマップの改訂	一人暮らし、高齢者夫婦調べる
道幅の確認	独居の確認
災害時だれがどの人の所に安否確認に行くのか決める。防災委員会と協議	
地区の商店さんから協力を願う	
<b>イチオシ企画</b>	
今年度、防災訓練を実施	防災訓練時、独居者の安否確認を実施する

樫井西

**災害時にわが町の被害を最小限にしよう**

<b>これまでに行った取り組みについて</b>	
町全体に海拔の表示	南部市民交流センターでの避難場所
消防団を中心に救助隊の結成準備	南部市民交流センターでの毛布の確保
町内の外灯の点検	災害備蓄毛布完了
登下校時の見守りでの子ども達の指導	一人ぐらし見守り時に不安と思った時声をかけてもらう
<b>来年こんな風にやってみたい</b>	
避難訓練をする	町内の井戸の点検
各種団体の活性化が必要	非常食を各自で用意
緊急連絡先を確認する	家庭内での避難場所を決める
非常袋を用意する	飲料水の確保
おくすり手帳を持つこと	
<b>イチオシ企画</b>	
町内の井戸の点検	

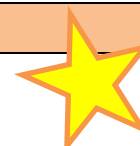
樫井東

**災害時にわが町の被害を最小限にしよう**

<b>これまでに行った取り組みについて</b>	
防災の勉強会	安全パトロール実施
独居高齢者の見守り活動	世代間交流会の実施
隣組の活用	救急用品
<b>来年こんな風にやってみたい</b>	
【個人で取り組むこと】	
家族間で連絡方法を決めておく	住民リスト
家族で避難場所・経路を確認しておく	災害時に持ち出せる防災グッズの用意
飲料水、非常食の用意	情報収集のためラジオを用意する



部屋の入口付近に大きな家具は置かない	家具の固定
人災は防ぐ天災は備える	危険予知をして平日から備える
懐中電灯の用意	
【地域で取り組むこと】	
避難訓練の実施	防災グッズの準備リスト町と個人で
地域防災組織。 ・連絡方法：隣組単位、他各種団体の活用	防災マップ
隣組単位の連絡網	防災弱者の把握
防災についての勉強会の実施	協力井戸の状況把握
避難場所の経路確認	住民全員の把握
【行政にお願いすること】	
避難箇所への順路表示	テント寝袋の確保
行政における防災グッズのアドバイス	災害対応のため最低限の機材の配置
非常食の確保	簡易トイレの確保
【その他】	
救急、救命処置訓練の実施	各種団体とのコミュニケーションを図る
イチオシ企画	
地域防災組織。 ・連絡方法：隣組単位、他各種団体の活用	協力井戸の状況把握



## 中央地区地域の暮らしを話す会

日 時 : 平成 29 年 3 月 1 1 日 ( 土 ) 1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 3 0 分

場 所 : 幸町町会館

参加人数 : 12 人 ( 中町 3 人 ・ 葵町 2 人 ・ 幸町 3 人 ・ 松風台 3 人 ・ 日根野西 1 名 )

参加職員 : 社協 CSW、地域包括、基幹相談、社協相談 G

中 町

### ①現在やっている支部活動について

#### 【よかった点】

【高齢者お茶会】ガーデニングの作業は育てる楽しみがあって喜ばれている。

【子育てかじり】卒業した親子メンバーが今も仲良し。

#### 【しんどかった点】

高齢者のかたで、会館までの場所が遠く参加困難な人がいる。

10 年以上前の初期は、子育てかじりの参加人数も多く会館が狭くなるほどだったが、だんだんと地域以外に子育て支援の福祉が充実し、専門的に関わって下さるときは多い時もあるが、ここ 3、4 年の参加者は減っている。

関わる人材も民児協 OB で町内からの人材育成はない。



を踏まえて・・・

### ②これからの福祉委員会について

#### 選んだテーマ⇒《子育てサロン》

#### 【改善したい事、新しく考えていきたいこと】

協力員も中に入って遊ぶ

協力員も増やしてもらう

### ③今後支部活動にてやってみたい事(上記以外のテーマでも OK)

町会役員の減少。団結の必要！！

中町カフェ(こどもから大人まで)

葵町・日根野西

### ①現在やっている支部活動について

#### 【よかった点】

地区の行事に他支部の交流の交流

粗大ごみの回収

【個別訪問】訪問時のメモの工夫(インフルエンザ、ノロウイルス、特殊詐欺など)

子育てサークル活動

高齢者訪問活動

#### 【しんどかった点】

高齢者への連絡

自身の高齢化

いずみの森への交通法、タクシー	役員の高齢化
粗大ごみ回収の時間、協力者	新しい事をおこなう時のシステム化



を踏まえて・・・

②これからの福祉委員会について

選んだテーマ⇒《高齢化について》

【改善したい事、新しく考えていきたいこと】	
町会の役員の仕事が多い	介護予防、町会等のお手伝い
高齢者の年齢をあげたらよい(65⇒70歳)	町会だけでないシステム化。高齢者対策。
町会、福祉委員会の時間帯検討	買い物コミュニティタクシーがほしい。
高齢者でもやれることはどんどんやってもらう。	
一人暮らし高齢者での近所の集いをつくるのは良いと思います。	

③今後支部活動にてやってみたい事(上記以外のテーマでもOK)

誰でもOK。自宅開放型サロン。	各支部どうしの共同で。
子ども食堂。	災害。自助。共助。
町会未加入者の件。	

松風台

①現在やっている支部活動について

【よかった点】	
【交流会】いろいろな世代の人と楽しく過ごせた	
交流会申込みの方には前日にもお誘いをする。	
班長さんがほぼ全員参加してくれた。	おいしい食事で楽しいひと時が過ごせた。
【ガーデン】花がよく咲いた。	世代間交流ができた。
【松風台サロン】みなさん楽しく過ごしてくれた。	
【しんどかった点】	
予定人数の不安定さ。	個々の希望に答えるのが大変。
土おこしが大変。	継続的に水撒き、草抜き。
出席人数。	



を踏まえて・・・

②これからの福祉委員会について

選んだテーマ⇒《松風台サロンについて》

【改善したい事、新しく考えていきたいこと】	
茶話会 OR カラオケ	主は何か？分からない初めての人がいた。
健康体操、サロン、チラシを別々に	

## ①現在やっている支部活動について

【よかった点】	
カラオケ	太極拳
秋祭り	夜警
高齢者交流会	
【しんどかった点】	
特にない。	



を踏まえて・・・

## ②これからの福祉委員会について

選んだテーマ⇒《秋祭り》

【改善したい事、新しく考えていきたいこと】	
スタッフの増加	時間延長

## ③今後支部活動にてやってみたい事(上記以外のテーマでもOK)

防災活動について	名簿の活用
----------	-------

## 資料① 地域の暮らしを話す会 打合せ用企画書

※本企画書を基本に打合せを行いました。最終的には地区福祉委員会と社協の地区担当者との打ち合わせによって地区ごとに工夫して実施しましたので、このとおりの進行はしていません。

**目的** 住民同士の話し合いをつうじて、地域の現状について共有するとともに、必要な取り組みについてのアイデアを出し合う。

### 今年度の変更点

- ① 話し合うテーマを募集段階で伝える
- ② ワークショップについて、【A 地区ごとで決める】【B 社会資源マップづくり】の2種類を地区ごとに、地区福祉委員会と社協とで協議して決めます。

**参加者** 地区福祉委員会を通じて呼びかけ

### 開催当日までの流れ

- ① 地区福祉委員会役員と地区担当者で日程等の調整
  - 開催日時
  - 開催場所
  - 話し合いのテーマ
    - A) 特定のテーマ※について現在の取り組みとのかかわりをみんなで確認し、「来年こんなふうにやってみたい」という意見を出し合う
    - B) 特定のテーマ※に関する地域情報・社会資源マップを作成する

※話し合いのテーマは「いずみさのみんなの絆プラン」の項目や27年度の話合いテーマなどを参考に、役員と地区担当者で相談してきめます。

② 地区担当者が話し合うテーマを記載したチラシを作成しますので、地区福祉委員会で周知をお願いします。

③ 当日、参加者に配布するお茶などは社協側で用意します。

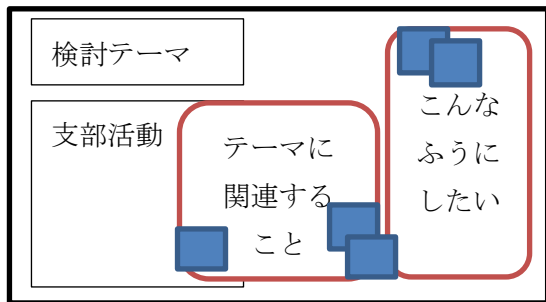
**プログラム(案)**

【A テーマについての取り組みを考える場合】

- 目的 福祉のまちづくりのために、みんなでできる取り組みを話し合う
- 目標 次年度の活動に反映できるアイデアを決める
- 準備物 ふせん×大量 マジックペン×グループ数  
マイク 27年度実施報告書  
話し合いのルール(A1)  
在宅介護ハンドブック×グループ数※要相談  
障害サービス資源集 ×グループ数※要相談  
当該地区福祉委員会の平成27年度実施報告書

進行表

時間	内容	備考
5分	あいさつ、趣旨説明	
3分	出席スタッフの紹介	
5分	ワークの目的説明	
10分	説明) テーマについて テーマについて関係する情報を提供	地区役員、CSW、包括、基幹などから
15分	ワーク①) 今の活動の洗い出し 昨年度おこなった取り組みについて テーマに関連する部分を書き込む	
20分	ワーク③) 来年、こんなふうにやってみたい	個人ワーク 3分 グループ討議 15分
10分	ワーク④) ③ででたアイデアのうちで、グループ内でイチオシの企画を決める	発表準備をかねる
20分	グループ間の情報共有	イチオシ企画1つのみを説明してもらう
2分	スタッフからコメント CSW・包括・基幹から	



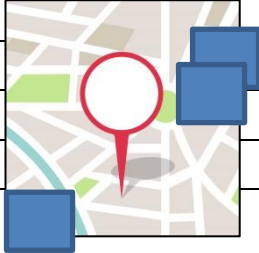
【B 地域情報・社会資源マップづくり】

目的 地図を通じて地域の情報を共有・可視化し、地域内に必要な取り組みを考える。

目標 ①みんなで地域の状況について話し合うこと  
②次年度の活動に反映 ※地図作成が目的ではない

準備物 □小学校区の地図（A1）×グループ数  
□ふせん×大量 □マジックペン×グループ数  
□マイク □27年度実施報告書  
□話し合いのルール（A1）  
□在宅介護ハンドブック×グループ数※要相談  
□障害サービス資源集 ×グループ数※要相談

進行表

時間	内容	備考
5分	あいさつ、趣旨説明	
3分	出席スタッフの紹介	
5分	ワークの目的説明 地図にのせる情報の例 ➢ 高齢者の集まり ➢ 無料で滞在できる場所 ➢ 子どもが遊べる	去年の話し合いテーマを参考に、テーマをある程度絞っておき、チラシにも記載しておく
30分	ワーク：テーマに関する情報もちよりガイドブックなどを使って地図に書き込んでいく。	
5分	他市などでの居場所の資料配布	
15分	発表への準備作業	
20分	グループ間の情報共有	
7分	スタッフからコメント CSW・包括・基幹から	

参考文献：山口県社会福祉協議会、平成 18 年 3 月  
「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会  
作成日：平成 29 年 7 月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。